CENTRAL 中央自動車工業株式会社

# 中期経営計画

## （2023年度～2025年度）

2024年5月更新版

# 2023年度～2025年度　中期経営計画

2024年度 更新

スローガン

## Integrity and Appreciation!!

目　標

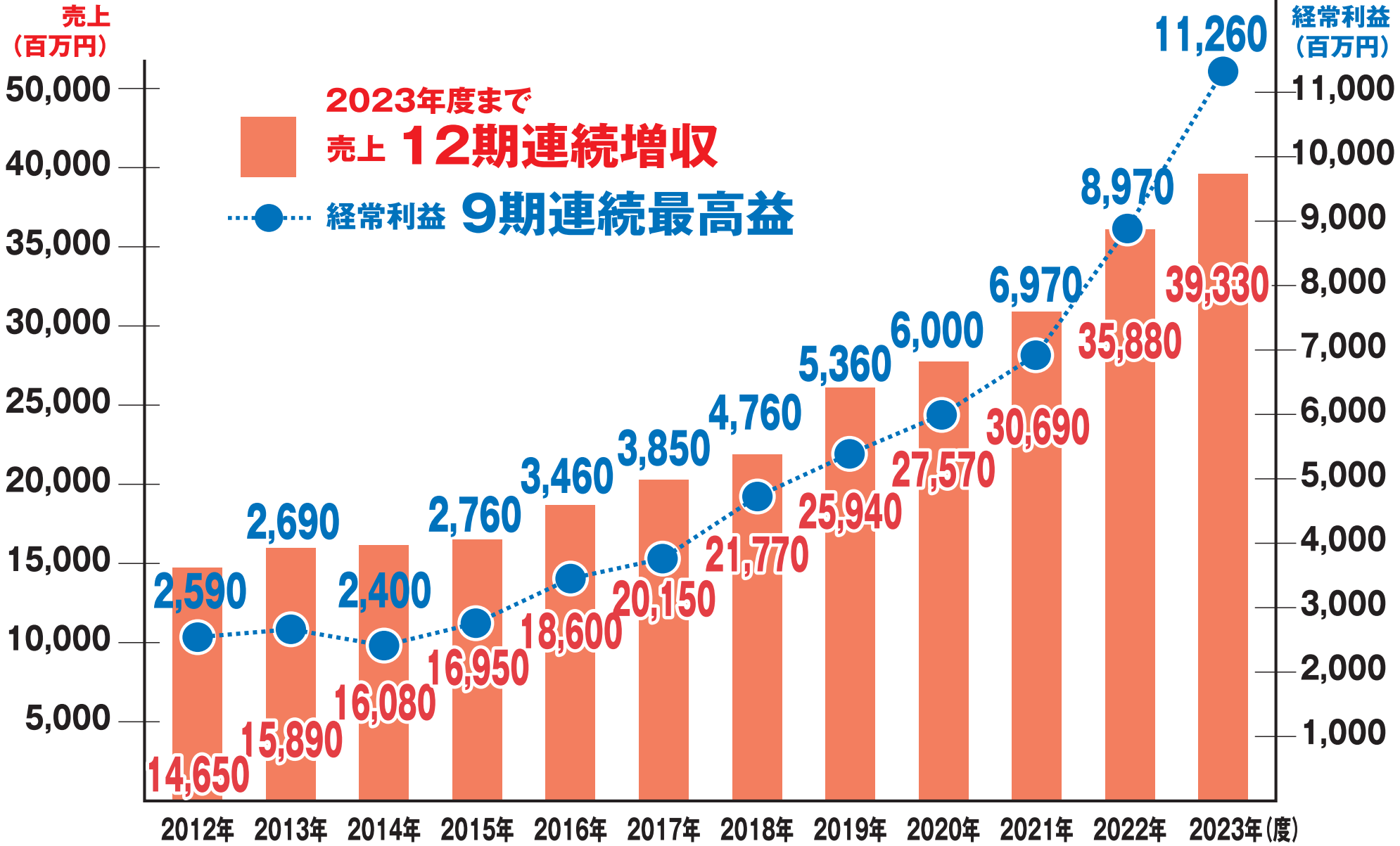
## インテグリティと感謝を文化に

連結計数目標

| | | |
|---|---|---|
| 売上 | ~~425億円~~ | ▶ 440億円 |
| 経常利益 | ~~100億円~~ | ▶ 125億円 |

# 1 2012年度からの業績振り返り（連結）

2024年度 更新



# 1 前3ヵ年の業績振り返り／総括

## 総　括

●コロナ禍を含む3ヵ年にわたり増収増益を維持。
社内展開していた中期経営期計画の連結計数目標
（22年度目標：売上350億円/経常76億円）を達成。

●国内においては、既存コーティングビジネスの新規取引の拡大と、
法改正を追い風として、アルコール検知器事業の拡大に成功。

●海外においても既存ビジネスである優良補修部品の拡販を継続しながら、PB部品のブランド化や国内開発商品の海外での販売にも挑戦し、業容を拡大。

●連結子会社ABTも堅実な事業運営により50～60億円の売上を維持
（20年3月期は3ヶ月分の20億円）。

●結果として連結売上高は年平均成長率約12%にて推移。
経常利益率も20%以上の水準を維持。

# 1 前3ヵ年の業績振り返り／課題

## 課　題

●既存ビジネス以外にも、自動車業界全体を視野に入れ、更に
自動車業界以外での新規事業展開も同時に実現する必要がある。

●上記の達成のためにも、研究開発への投資と、M&Aを含めた
新規事業開発の重要性の高まり。

●コロナ禍での活動の一部リモート化により、社員同士のコミュニ
ケーション機会が減少。一体感、帰属意識の醸成が必要。

●チャレンジできる、スキル獲得できる環境整備への要求の高まり。

●SDGs取り組みの体制強化の必要性。

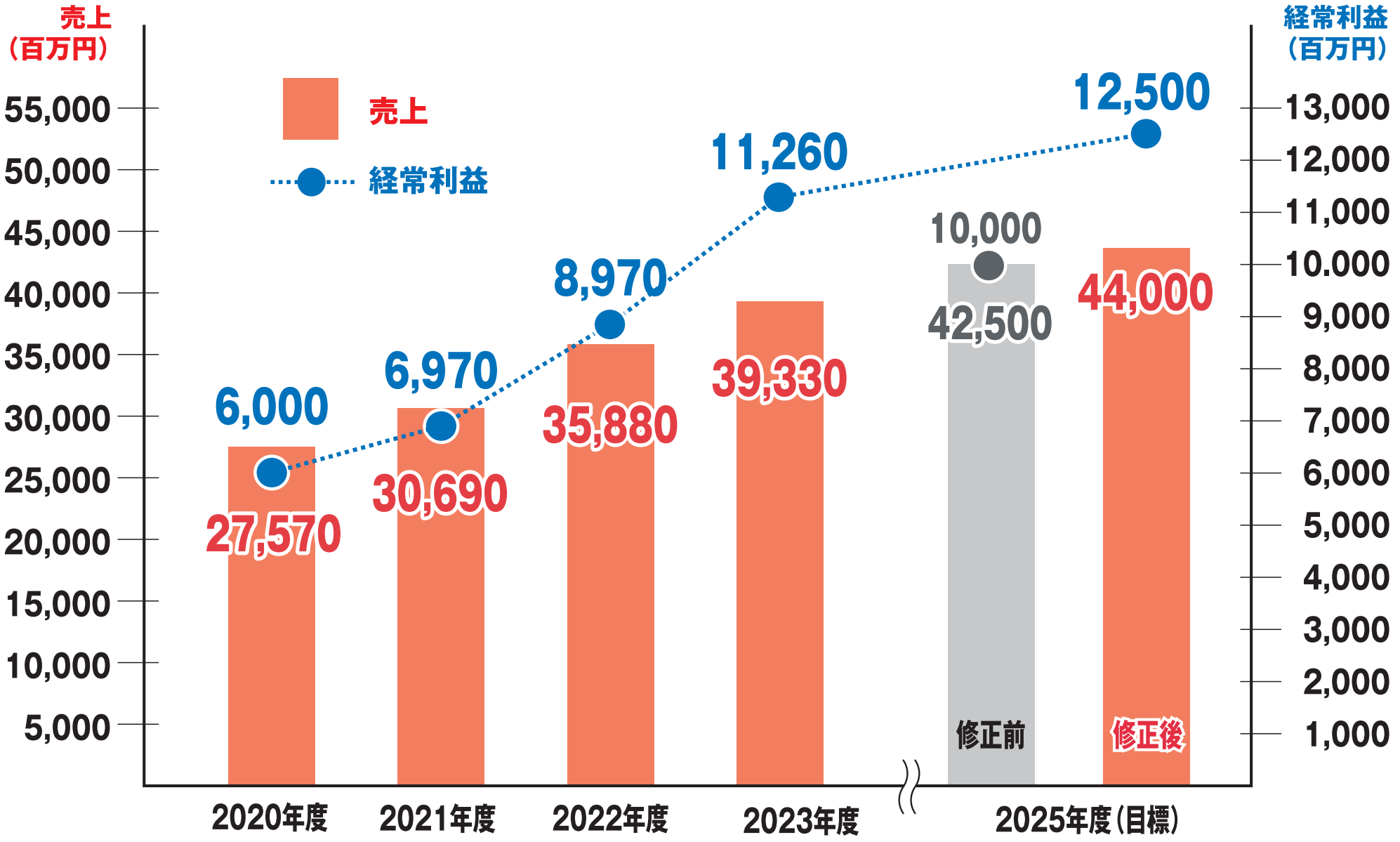
# 1 2023-2025中期経営計画　初年度振り返り

2024年度 追加

| | |
|---|---|
| 総務本部 | ・従業員エンゲージメント向上の為の研修充実や社内サーベイを実施。<br>・積極的なIR活動を通じた企業価値向上に努め、株価の上場来高値更新をサポート。<br>・時流に沿った規程見直し、労働環境の整備、DX化への準備を各部と共同推進。 |
| 国内 | ・新車販売販売台数の伸び率（103.3%/前年度比）を超える113%の売上伸び率を達成。<br>└地域密着型営業の強化と高付加価値商材の拡販戦略が全国に浸透。<br>・純正指定商品、対象メーカー増加も追い風。 |
| 海外 | ・前年度の売上増の反動もあり売上は横ばいにて推移。<br>・積極的な展示会への参加によるPB部品の販売強化。<br>・北米における開発商品の販売契約締結⇒2025年度の中期目標達成に向け弾み。 |
| 経営企画室 | ・M&Aを1件実行（フラッグス/2023年11月）。<br>・社内ベンチャーを立上げ（2023年12月）、2024年9月の事業案提出に向け活動。<br>・ベンチャー企業への投資（エアロネクスト社）を2024年4月に1件実行。 |

## 2 中期経営計画計数目標

2024年度 更新



# 3 企業理念／基本方針／基本戦略

## 企業理念

**世界のネットワークを通じて環境にやさしく、
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。**

## 基本方針

（1）お客様の潜在ニーズを読み、期待を上回る新しい商品・サービスの開発を通じて
需要を創造する。
（2）全てのお客様・お取引先様への感謝の念を忘れず、徹底したサービス体制を通じて、
信頼とお役に立つ中央を目指す。
（3）役員・社員の能力と生活向上を通じて、社会的責任を果たす開発型企業を目指す。

## 基本戦略

（1）常に技術革新を追究し、お客様に感動頂けるオンリーワンの「開発型企業」を目指します。
（2）経営資源を当社の強みの部門と新しい事業開発に投下し、将来の礎を築くと共に、
開発型企業の基盤を強化します。
（3）徹底した現場訪問と情報収集の強化をはかり潜在ニーズの先取りをします。
（4）教育体制の充実と共に役員・社員は自己成長に努めます。

# 4 パーパスの策定について

全役員社員との対話を通じて、当社の解決すべき課題や、2030年のあるべき姿を確認。
企業理念を踏襲しながら、2030年に向けた具体的な目標【パーパス】を策定しました。

## パーパス：2030年の当社のあるべき姿

# 未来のモビリティ社会における最良のパートナー

### 【パーパスに込めた想い】

「未来」志向。よりサステナビリティを意識した企業へ。自動車業界にとどまらず、
より広域にお役に立ちたいという意志を「モビリティ社会」という言葉に表現。

「パートナー」という言葉に含まれる「困った人を助ける」「一緒に汗をかく」というイメージは、
これまでの当社の活動を良く表し、未来にも持ち続けたい大切なイメージ。

当社の強みである真摯な「研究開発力」と愚直な「営業力」を一層磨き、
全社員一丸となり、パーパスの実現を目指します。

# 4 パーパスの実現の為に

パーパス実現に向けたビジョンと
当社社員が大切にしたい価値観

パーパス：2030年の当社のあるべき姿

## 未来のモビリティ社会における最良のパートナー

### 【パーパス実現のためのビジョン】

●社会の「もったいない」を減らす会社　●モビリティ社会に付加価値を創造する会社
●異業種ビジネスへの挑戦＝豊かな社会を支える会社　●環境、健康、安全がテーマのオンリーワン企業
●風通しの良い企業風土＝心理的安全性を重視する風土　●従業員の好奇心、成長意欲が充たされる会社

### 【CENTRAL WAY for 2030：社員が大切にする価値観】

●インテグリティ＝誠意をもって正道を歩む勇気　●感謝の心
●成長志向＝学ぶ意欲（人材投資）　●多様な価値観、個性の尊重
●チャレンジ精神（新規、M&A）　●未来の世代へつなげる意識、責任感
●公平、公正な姿勢　●SDGs、ESGの意識

# 5 3ヵ年重点項目

## 【①人的資本投資】

- ●従業員エンゲージメント向上取り組み強化
- ●能力向上を促す「学びなおし環境」の整備
- ●多様な人材が活躍できる環境整備

## 【②ビジネス拡大戦略】

- ●営業力向上への投資
  （新営業分析ツール導入、中期目線研修での異業種人材、DX人材育成）
- ●研究・開発への積極投資（産学連携強化）
- ●企業ブランド強化（BtoBtoCの意識を強める）

## 【③SDGs/ESG投資】

- ●サステナビリティ経営の強化
- ●健康経営への継続投資
- ●GHG算定、TCFD開示⇒削減ロードマップに沿った経営

# 6 ブランディング 戦略／I

2024年度 更新

**従業員エンゲージメント向上が最重点課題と認識**
**社員の物心両面が充たされ、優秀な人材が集まり、成長、育成される組織へ**

**【IR/投資家向け取り組み】**

- ●IRサイトリニューアル、発信強化
- ●人的資本/TCFDを含めた非財務情報開示充実

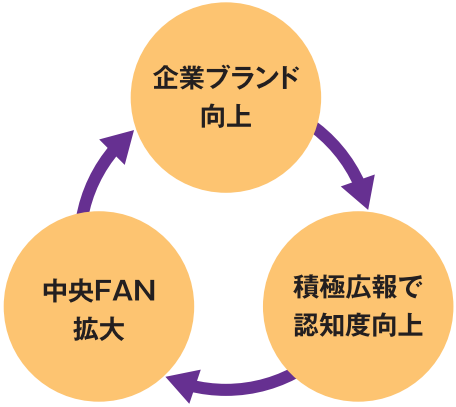
**【現場支援】**

- ●東京支社新設移転 ⇒ 旗艦店としての機能充実、本社機能一部移転・関連会社移転にて経営効率向上。首都圏営業人員増、営業力強化。2024年度～
- ●高崎営業部新築移転　●受発注システム改善

**【企業ブランド向上】**

- ●広告宣伝部と経営企画室協働で全社レベルでブランディング推進
- ●社員力向上を通じたブランディング

**【その他】** ●ペーパーレス化継続推進　●中途人材採用強化　等…




**企業価値向上に向けて、より主体的な本部体制を構築**

# 6 ブランディング戦略／Ⅱ

2024年度 更新

## 【広告宣伝部×経営企画室】企業ブランドの社内外への浸透を推進

### インナーブランディング

定期的なブランディング会議（本部、事業所による）の企画、運営（詳細検討中）。
　└当社の現在地と今後向かう方向について、社内コミュニケーション活性化を図る。

### アウターブランディング

コーポレートサイト等のメディア活用を通じ、当社の目指す姿を発信。
　└ステークホルダーとのコミュニケーション強化により、選ばれる企業を目指す。

### 商品ブランディング

自社商品・サービスのブランドへの理解を深め、発信する
　└自社商品と競合品の違いや、各商品の誕生秘話、変革の歴史などの再認識。
　⇒お客様から一層安心して選ばれる商品・サービスに育てる。

# 7 国内営業戦略

■コーティングビジネスの付加価値向上、既販車ビジネスへの投資拡大

■環境負荷の少ない原料選定、改良を継続

■アルコール検知器事業の拡大

■研究開発投資強化、次世代コーティングの開発

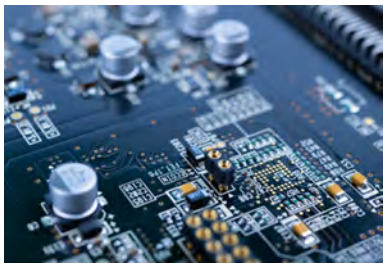
■異業種向けのビジネス拡大に挑戦

**【Total Mobility Solution企業】へ進化し、**
**モビリティ社会になくてはならない企業へ**

2024年度 更新

# ■アルコール検知器事業拡大･差別化

●クラウドシステム会社との連携強化を継続し、
DX推進ツールとしての提案強化を図る。



●再利用できる部品を活用しリユース機器として利用
することで、できる限り廃棄を減らし環境に配慮

●センサー交換によりアルコール検知器本体を
継続利用することで、本体部品の廃棄を削減

●紙パッケージ、紙ストローの使用により、
プラスチック廃棄物の削減に貢献

# 8 海外営業戦略

**Mission：次世代へつなぐ自社主導の高付加価値ビジネス構築**

■重点取引先との関係強化

■自社ブランド部品の販路拡大

■海外連結子会社、現地法人とのネットワークを活かし、
国内開発商材販路拡大と新規ビジネス展開を模索

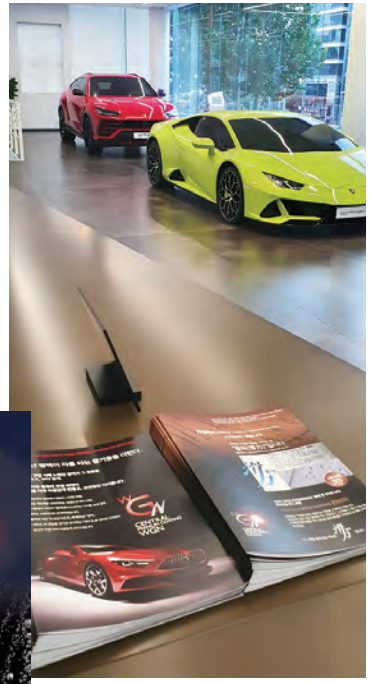
**世界のモビリティ社会の隅々まで「安全」を届ける企業へ**

# 8 海外営業戦略／具体策

## ■コーティング等開発商材の海外展開加速

●すでに展開している地域への投資集中

●大阪本社にて現地社員向け技術研修を実施し、
日本品質を海外に輸出



# 9 新規事業戦略（経営企画室）

2024年度 更新

## 【M&A】

●フラッグス社の買収を実行（23年11月）
●金融機関、M&A紹介企業との情報交換を密に継続。
●環境、健康、安全、モビリティという軸で投資先の選定を継続。

エアロネクスト社のドローン宅配実証実験

## 【新規事業（社内ベンチャー）立上げトライアル】

●23年12月に全社より8名を公募。2チームに分かれて新規事業案を検討中。24年9月に事業案提出を目指し活動中。次年度以降も継続し、社員の成長に繋げながら、次世代に繋げる新規事業立上げも図る。

## 【ベンチャー投資】

●24年4月に1件出資を実行（エアロネクスト社）。出資企業との情報交換を通じ、異業種に対する知見を深め、5~10年先のトレンドとなる事業の発掘を継続。

**M&A、新規事業、ベンチャー投資を通じて**
**新たな事業領域創出にチャレンジ**

# 10 連結子会社施策

2024年度 更新

## 株式会社フラッグス

- 生産体制を強化し、より多くのメーカー、車種に対応した商品展開を図る
- 中央自動車工業の販路を活用したカーディーラー様向けビジネスの強化
- 大手カー用品店との関係深耕による販路拡大
- 各種メディアとの連携強化と、各種SNS活用強化によるブランディング推進
- ファンミーティング等のイベント充実によるCS向上
- 社員の処遇改善、教育体制充実によるES向上

## 株式会社ABT

- 東京海上日動火災保険㈱様との連携強化
- 大手ケミカルメーカーとのサーキュラーエコノミー構築検証を継続
- 中央自動車との人材交流、社内教育体制の強化による人財育成に注力

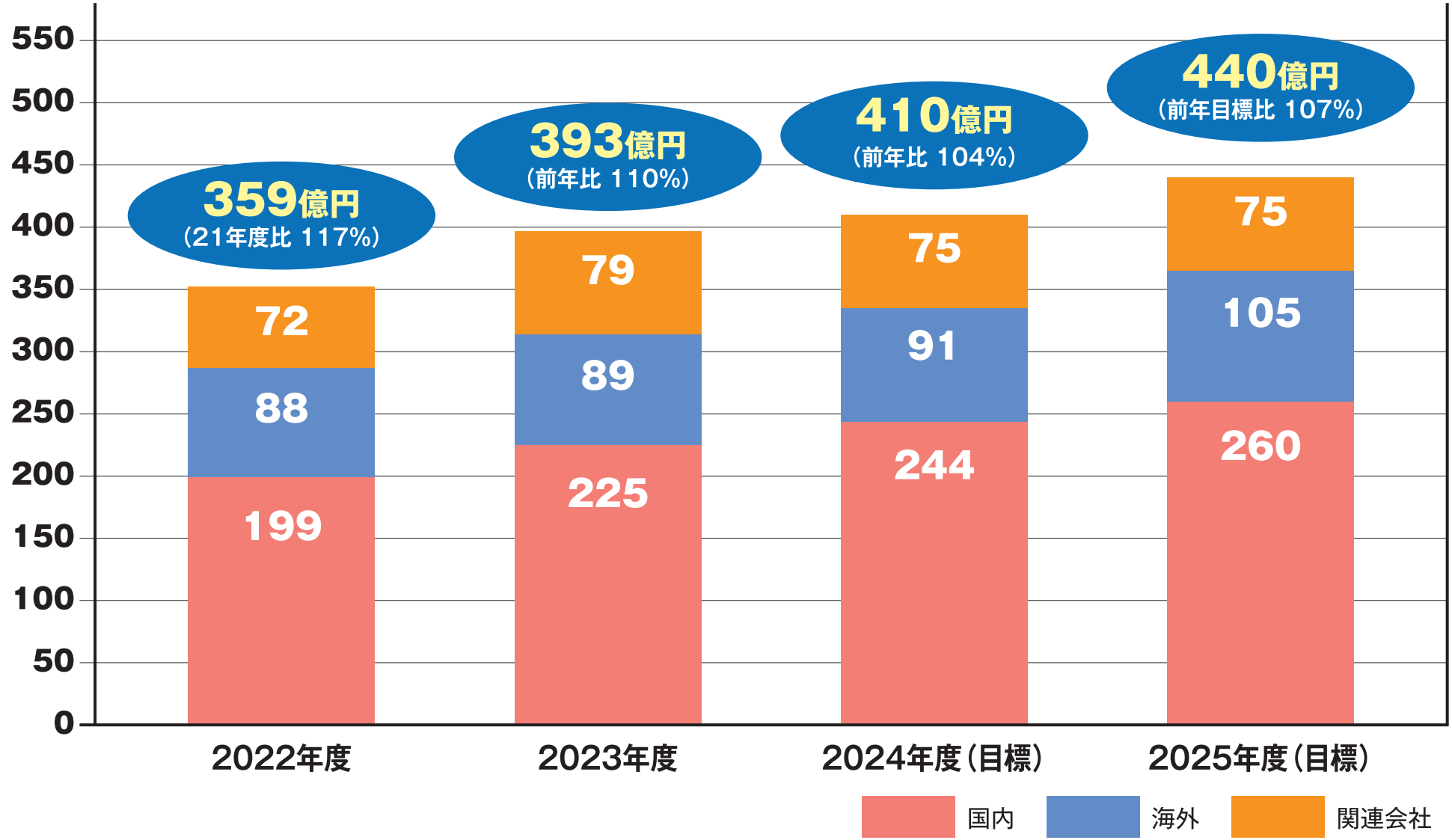
## セントラル自動車工業株式会社

- 環境に配慮したケミカル製品の安定供給を通じてグループの収益最大化に貢献

# 11 売上推移（連結）

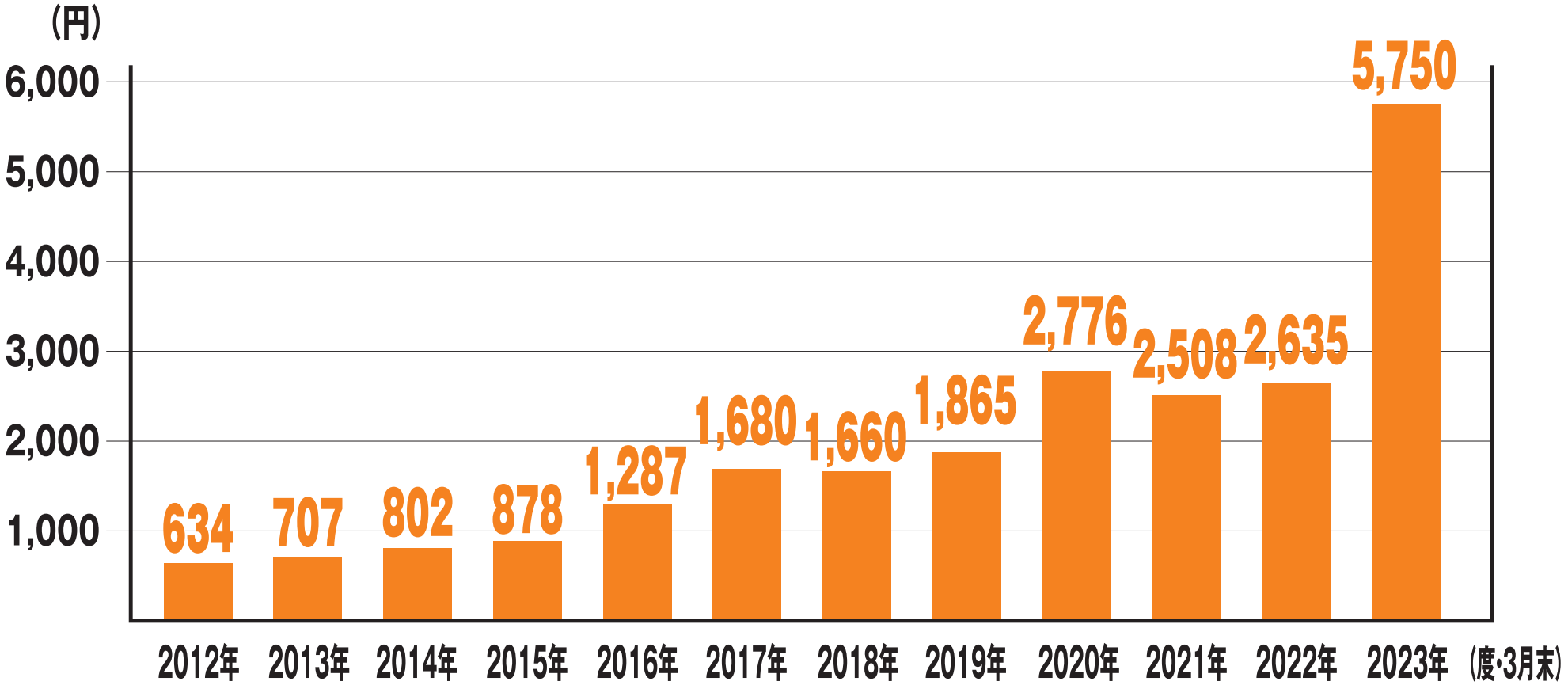
2024年度 更新

（単位：億円）



# 12 株価推移

2024年度 更新

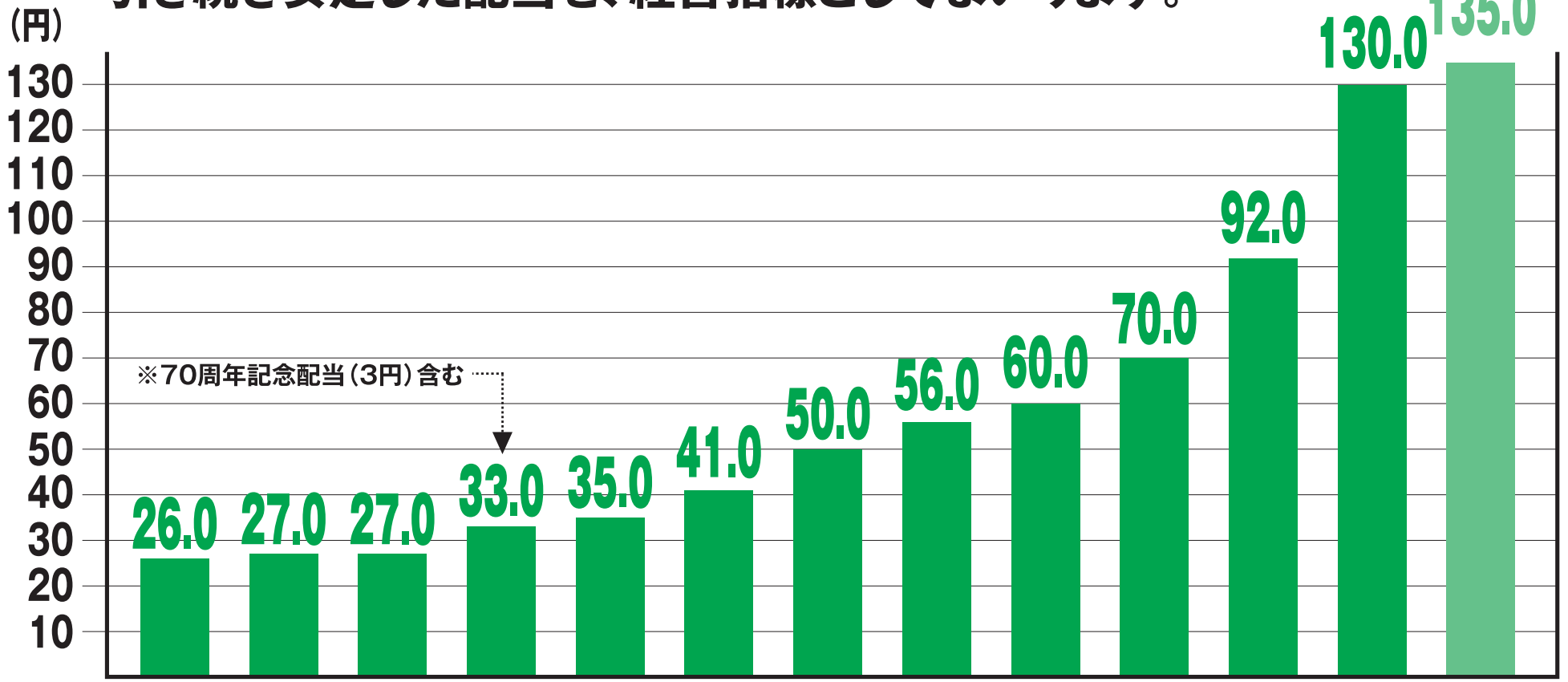



●売上高利益率及びROE（自己資本当期純利益率）10%以上の維持と、最高益の更新を通じて、株価のさらなる向上を目指します。

# 13 配当政策

2024年度 更新

●従来の配当性向は単体ベースで30%以上としていましたが、
2023年度より**連結ベースで30%以上**とし、
引き続き安定した配当を、経営指標としてまいります。



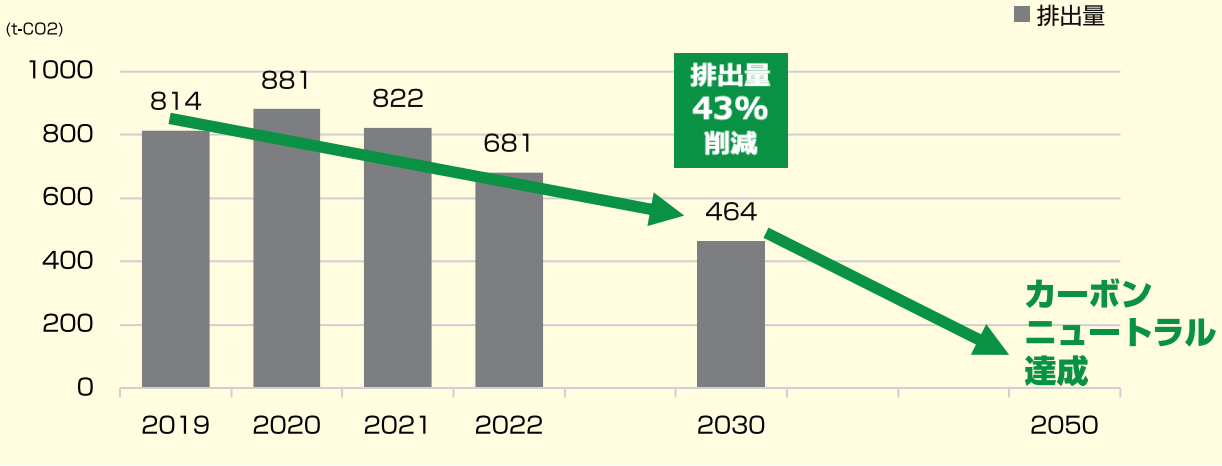

| (度・3月末) | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年予想 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 配当性向(連結) | 28.5% | 29.2% | 31.4% | 31.8% | 26.3% | 27.1% | 26.6% | 26.2% | 28.4% | 27.4% | 26.9% | 30.2% | 30.7% |

# 14 ESGの取り組み（概要）

2024年度 更新

- ●サステナビリティ経営の強化
- ●健康経営への継続投資
- ●働きやすい環境の整備（東京支社・高崎営業部新築）
- ●GHG算定、TCFD開示
  ⇒削減ロードマップに沿った経営

GHG排出量(Scope1,2)削減ロードマップ



# 14 ESGの取り組みの一例／I

2024年度 更新

## ボディコーティングなどの溶剤の空き瓶を回収、リサイクルに繋げる取り組みを拡大

### ●取り組み都道府県

北海道
東北地区／青森、岩手、山形、宮城、福島
関東地区／東京、神奈川、埼玉、千葉、**茨城、栃木、群馬**
東海地区／愛知、静岡、岐阜、三重
関西地区／大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山
中国地区／岡山、広島、**山口**
四国地区／**香川、愛媛、徳島、高知**
九州地区／福岡、**大分、長崎、熊本、鹿児島、宮崎**

※得意先様に回収用ドラム缶等を設置。

※赤字の県が追加。上記以外も順次実施の予定

# 14 ESGの取り組みの一例／Ⅱ

2024年度 更新

## （株）ABTにて、使用済自動車を活用した サーキュラーエコノミー実証を拡大

### 子会社の株式会社ABTにて取り組み中の実証実験

●ヘッドランプからポリカーボネート樹脂リサイクル

（24年1月～東京海上日動火災保険(株)、三菱ケミカルグループと共同）

●展開済みエアバッグからリサイクルナイロン樹脂リサイクル

（23年11月～東京海上日動火災保険(株)、リファインバースグループと共同）

●テールランプ等からアクリル樹脂リサイクル

（23年1月～東京海上日動火災保険(株)、三菱ケミカルグループと共同）

# 14 ESGの取り組みの一例／Ⅲ

2024年度 更新

## 教育活動、スポーツ活動への協力

### 交通遺児等育成基金への寄付。

●公益財団法人交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。
また、2006年度からソシアックの売上収益の一部寄付を継続中。

### JPA日本パラ陸上競技連盟への オフィシャルパートナーとして協賛。

●FMラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛。
●交通安全啓発映画等への協賛。
●財団法人全日本交通安全協会へ、
交通安全教育用としてソシアックを寄贈。

●全国マスコミへの取材協力、各種シンポジウムへの協力。
●財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。
●地域貢献の一環としてラグビー「レッドハリケーンズ大阪」への
サポートを開始。

Red Hurricanes OSAKA

※一昨年、昨年に引き続き、「健康経営優良法人2024」に認定されました。
今後も、環境・社会への貢献、
社員の健康管理への取り組みを
継続してまいります。

# 14 SDGs／ESGについて

2024年度 更新

## 交通事故被害者への援助、啓発活動への協賛

（財）交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。
同基金へのソシアックの売上収益の一部寄付や、ラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛を継続。

## 健康経営への取り組み

従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、健康経営の取組みを実施。2023年に引き続き、昨年も「健康経営優良法人2024」に認定されました。（4年連続）

2024
健康経営優良法人
Health and productivity

## ダイバーシティの推進

個々人の多様性と創造性を積極的に活用できるよう、海外現地法人において、現地スタッフの採用や企業全体として女性管理職の登用を推進。

## ボディコーティングの販売による環境負担の軽減

当社開発商品である各種コーティングを販売することにより、洗車回数の削減やカーシャンプー使用頻度の低下による水質保全に繋げる。

## 人と環境に優しい製品開発

化学物質排出把握管理促進法（PRTR制度）等、各種法令に配慮した、人と環境にやさしい製品開発を推進。
常に最新の安全データシート（SDS）をHPより提供。

## 啓発活動、スポーツ活動への協力

財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。
JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとしての協賛を継続。

## パートナーシップ構築宣言に参画

「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」における、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めるという趣旨に賛同し、パートナーシップ構築宣言に参画。

パートナーシップ構築宣言

## ISO14001、9001の認定を取得、活動を継続

ISOへの取組みのため、「電気使用量の確認と節電にむけた対策」「紙類リサイクルの徹底」「営業車のHV化」等の活動を継続実施。

bsi
ANAB
ANSI National Accreditation Board
ACCREDITED
MANAGEMENT SYSTEMS CERTIFICATION BODY

FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO14001
本社　国内支社・営業所

## アルコール検知器のリユース活用

使用済み機器の「内部基板」や「液晶」などを再利用しリユース機器として活用しているほか、センサー交換により本体を継続利用できる仕組みにより、部品の廃棄を削減。
梱包には全て紙素材を活用し、プラスチックごみによる海洋汚染問題への対策に対応。

## コーティング製造工場における廃液排出ゼロの取組み

関連子会社のセントラル自動車工業株式会社における製造過程での廃液排出をゼロにすることにより、周辺環境への影響を無くし、環境汚染等を防ぐ取組みを推進。

# 2025年度には
# 「インテグリティ」と「感謝」が企業文化となり
# 仕事を通じて社会のお役に立てる
# もっといい会社を目指して参ります。

中央自動車工業株式会社
CENTRAL AUTOMOTIVE PRODUCTS LTD.